

会 議 録

会 議	令和5年度第1回高知市地域公共交通会議
開催日時	令和5年5月29日(月) 10:00~11:50
開催場所	高知市役所本庁舎6階 611会議室
会長氏名	熊谷 靖彦(高知工科大学名誉教授)
出欠状況	別紙「出欠表」のとおり
事 務 局	交通戦略課 課長 出口 忠彦 地域交通戦略担当係長 片岡 亮 地域交通戦略担当係長 柳生 優子 主査補 西森 綾乃 主事 慶田花 蒼
会議内容	別紙「会次第, 会議資料」のとおり
事務局：片岡	<p>本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただいまから令和5年度第1回高知市地域公共交通会議を開催いたします。</p> <p>私は司会を務めさせていただきます事務局の高知市交通戦略課片岡と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会は「高知市地域公共交通会議設置要綱」により「公開」とさせていただきます。</p> <p>本日は今年度初回の会議となりますので、新たに委員になられた方を紹介いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所副所長, 河原 研治 様 ・高知県高知土木事務所次長, 岡田 智 様 ・高知市市民協働部部長, 中城 純一 様 ・高知市都市建設部部長, 福留 正充 様 <p>福留委員は代理として、本日は同部副部長の中岡様に出席いただいています。</p> <p>以上、4名の方々が新たな委員となりました。</p> <p>本日は、高知市老人クラブ連合会会長 三宮委員、高知県警本部交通部参事官兼交通企画課長 奥田委員が欠席されています。</p> <p>なお、本日の会議は、委員の半数以上が出席されておりますので、設置要綱の規定により、成立していることをご報告いたします。</p> <p>会議資料は、事前に皆様にお送りしました資料一式と、本日お手元に配布しました資料5, 資料7-1, 資料7-2の3点となっております。</p> <p>過不足などございませんでしょうか。</p> <p>会長につきましては、昨年度から引き続きまして、熊谷委員にお願いいたします。それでは、今後の議事運営は、熊谷会長にお願いしたいと思っておりますので、熊谷会長よろしくお願いいたします。</p>
熊谷会長	<p>皆さんおはようございます。昨年度に引き続きまして本会の会長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、副会長につきましては、設置要綱の第7条の規定により会長の方からの指名となっております。昨年度まで副会長を務めていただきました谷協委員から中城委員に変わりましたので、中城委員を副会長に指名したいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
中城副会長	中城です。よろしくお願いいたします。

熊谷会長	<p>さて、ご承知のとおり地域公共交通は、通勤・通学あるいは通院、さらには観光と色々な分野の下支えをしているというところです。最近の情勢としましては、皆さんご存じのように、人口減少、少子高齢化、さらには車社会の定着とか。そして予想もできない、新型コロナの影響。さらにはウクライナ、原油高騰による物価上昇に伴う電気料の値上げなど色々アゲインストな状態になっておりまして、これまでのような利用サービスを継続することが非常に厳しいという状態になっております。</p> <p>本日の議論につきましては、この流れに対応したものがいくつか示されると思います。皆さんそれぞれの立場から御意見を賜りたいという風に思っております。</p> <p>それでは、私の方で進行をさせていただきます。</p> <p>議事に入る前に、前回の会議の中でいくつか確認をしておきたいものがあるかと思えます。</p> <p>まず私の方から、ワンコインデーのときのアンケートについて、いくつか参考になるものがあるんじゃないかなと思ったわけですが、その後とさでん交通さんの方で対応されたかどうか、その辺のことを確認させていただきたい。</p>
とさでん：伊藤	<p>前回の会議の資料の中にも、アンケートの内容が出ておりました。</p> <p>アンケートによく出てくるのは、特に運賃に関することでした。運賃を安くできないかとか、ワンコインデー・無料デーを月に1回実施できないかといった御意見が多かった。</p> <p>運賃に関することについては、なかなか事業者単独で決めることは難しいと思います。</p> <p>また、高知市さんとそういったことができるタイミングがあれば検討はしていきたいと考えております。</p>
熊谷会長	<p>アンケートには、ほとんど乗らない電停があるのではという意見もあったと思いますが、今後そういう点も含めて御検討いただければと思います。</p> <p>ほか、前回会議について質問されたいということはないですか。</p> <p>いいですか。</p> <p>それでは議事に進めたいと思います。</p> <p>まず、会次第の議事1 高知市地域公共交通計画の事業概要につきまして、事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局：柳生	<p>===== 資料1 説明 =====</p>
熊谷会長	<p>今年度の主な取組として、バス路線の再編、コミュニティ交通の導入などについて、概要説明をいただきました。</p> <p>まず、路線の再編につきましては、運転手の問題と労働時間の規制というのが問題になっています。大幅に便数が減ることになっています。</p> <p>このことについて、とさでんさん、補足説明などありませんでしょうか。</p>
とさでん：伊藤	<p>便数の削減とか、労働時間の改正の関係については、この後資料の中で説明したいと思います。</p>
熊谷会長	<p>タクシー業界も運転手不足につきまして、現状をよろしければ。</p>
明石委員	<p>令和2年の2月からのコロナ、あるいは売り上げ減。それ以上に困っているのはドライバーの不足です。高知市だけでなく高知県下のドライバー人口は1,400人です。コロナ以前は1,600人いました。現在高知県かのドライバーの平均年齢は66歳です。そして現在のタクシーの稼働率は51%です。半分の車がドライバー人口不足のために休車を</p>

	<p>しておるという現状です。</p> <p>これでは、新しい仕事が増えましても、タクシー業界として対応できないという大変な事態となります。業界としましても、タクシーの使命は、県民市民の皆様の移動を確保しなければならないというのは分かりきったことでございます。</p> <p>今後、市役所さん、行政当局といたしましても、この現状をどうするか。非常に業界としても悩みの種でございます。</p>
熊谷会長	<p>路面電車に関して何か補足事項等あれば、電気料の値上げといった話も聞いておりますし。何かございませんでしょうか。</p>
とさでん：近藤	<p>バス・タクシー業界の皆様から乗務員不足という話も出ていましたが、少なからず電車の乗務員も応募がない状態、少ない状態が続いています。非常に厳しい状態は変わりないところでございます。さらに電気料等の高騰によってかなりの費用が増というところも、軽油の単価増と同じような形で、かなり収入が厳しい状態になっているのは事実です。</p> <p>今後、電力会社さんは、国の認可が出て、家庭では2,000円程度増になるという話がありますが、その辺りは電力会社さんと協議をしながら調整をしていきたいと考えてはおります。</p>
熊谷会長	<p>交通事業者さんからの色々な追加説明をいただきました。</p> <p>それでは委員の皆さん御意見、御質問、コメント等ありましたらお願いいたします。</p> <p>私の方から指名させていただければと思います。人不足という点で恐らくホテル関係もご苦労されているのではないかと思いますのですが、古谷委員、現状あるいはコメント、アドバイス等ありましたらお願いします。</p>
古谷委員	<p>今、県内外からの来県者が増えてきて、私たちの事業者はやっと笑えるようになりました。ただ、瞬間風速が吹く、特定日の場合は人出不足はどここの事業者さんとも同じで、いかにそこに効率よく非正規の方を入れるかというのを考えてやっております。</p> <p>お陰様で、大学生とかアルバイトさんが入ってくれることで、瞬間風速値はこなせるようになりましたけれども、コロナ前からの人出不足ということには変わりなく、やはり職場改善をしていかなければ定着率というのは望めないと考えております。</p> <p>ただ、今来県されているお客様は、非常に高知はいい所だとおっしゃる、特にらんまん効果もあり、今まで見ないようなたくさんのお客様にお越しいただいており、私たちも嬉しい悲鳴を上げているところでございます。</p> <p>MY遊バスの乗車率も非常に多くて、今までこんなに沢山乗っていたのだろうかという光景を目にすることがあります。</p> <p>そして今年はよさこい50周年で、夏場は交通の方も嬉しい悲鳴を上げるようになるのではないかと考えております。</p>
熊谷会長	<p>ご苦労されながらも、前向きにやっておられるなという気がいたしました。</p> <p>ほかはいかがでしょう。</p> <p>人材の問題として、国として何かアドバイスできることや既に考えておられることがございましたらご披露いただけましたら。</p>
宮野委員	<p>交通事業者さんの人手不足の話と、観光関係の人手不足の話をお聞きしまして、ちょうど私どもの上局の方で四国運輸局長が変わりまして、4月末に各団体さんに集まっていた、色々御意見いただいたところだったのですけれども、非常に人手不足という問題は交通事業者さんに限らず、例えば関係の団体の方にも多くて、そこで処遇改善を図っていただかないと人は定着しないんだろうなということは国としても認識は同じ。</p> <p>なかなかすぐにこれを改善できる方策といったものがなく心苦しい所ではある。</p>

	<p>国土交通省が作っている制度で働きやすい職場認証制度というものがあり、そちらの方で職場の環境を見える化していこうという制度の中で、インセンティブというものが無いとなかなか事業者さんも認証制度を取ってくれないというのものもあるんですけども。</p> <p>最近でいうと、二種免許の運転士さんの関係で補助の制度を国の方で作りまして、それとこの認証制度を結びつけて、認証制度を取られた事業者に対しては二種免許の負担もみょうかというのを聞いたことがあります。どのくらい認証制度の登録があつて二種免許負担の申込があつたのかという具体的なデータは持ち合わせていませんが、こういったものがあります。</p>
熊谷会長	<p>ありがとうございます。ほかに何かありましたら。</p>
池田委員	<p>一点質問です。法改正にあたって運送業界の方たちの拘束時間に問題が出てくるとのことですが、運転手にとって拘束時間が短くなることで結果的に時間外が減って、所得が減ってしまうということがあると思う。</p> <p>大前提として適切な労働時間や健康に配慮した働き方というのは重要だと思うので、法律に関係なく守るべきところだとは思いますが、この辺りが実際今後の見通しとして、適正に守っていった場合、現状の運転士さんの賃金は下がっていく可能性もあるのか、どのような見通しをされているのでしょうか。</p>
とさでん：伊藤	<p>確かに改定により、輸送業界としては厳しい大変厳しい条件を突きつけられる状態です。そんな中でも来年に向けて色々検討はしております。</p> <p>まず第一に法令順守は当然。やはり乗務員不足が言われているなかで、所得が下がっていくとこの業界から人が離れて行ってしまうということもございますので、その辺りが最低維持できるように持っていくよう検討しているところです。</p>
熊谷会長	<p>ありがとうございます。その他ご意見等なければ次に進みます。</p> <p>まだ議事がたくさんありますので、御意見あればまた後でお聞きます。</p> <p>次に、議事（２）地域公共交通プランは、補助金に関する計画でございます。補助金の交付にあたっては、本会議で委員の皆様から意見をいただくことになっております。</p> <p>まず、路線バスの案件について説明をお願いします。</p>
とさでん：伊藤 北部交通：鈴木	<p>資料２、３説明 資料４説明</p>
熊谷会長	<p>バスに関して２社から御説明いただきました。</p> <p>タクシーは平均年齢 66 歳と先ほどお聞きしたんですが、とさでん交通さんのバスの平均年齢みたいなものは大体どれくらいでしょうか。</p>
とさでん：伊藤	<p>今日資料がありませんが、路線バスは 52 歳くらいじゃないかと思います。</p>
熊谷委員	<p>あと説明がありませんでしたが、資料２の１番最後のページ、路線維持のための取り組みというのを考えておられるとのことですが、そういうところに関して何かコメントや御質問をお願いします。</p>
岡村委員	<p>書類を見ただけで実感に落とし込めていないところがありまして、補足としてもし分かれましたら御紹介いただきたいんですけども。</p> <p>令和２年から約３割くらい、運行距離だと少なくなっている現状があつて、冒頭にも御説明にありましたように、様々な外的要因ですとか、ドライバー不足ということで苦しい局面を迎えているということだと思ふんですけども、それによってどのような</p>

とさでん：伊藤	<p>方々やどの程度の方々に影響が及ぼうとしているのか分かりましたら。例えば「ですか」のデータなどで分かるものがありましたら。</p> <p>利用状況は手元に詳細な資料はないのですが、コロナの始まった令和2年以降、路線の廃止や系統変更等で路線の縮小はしてきております。その中で、路線バスにつきましては、令和4年度にコロナ前の8割前後まで利用が回復してきた。また、コロナ期間も、定期につきましては10%減くらいで推移しましたので、一定コロナ禍でも通常利用の方は利用していただいたのかなというところ。</p> <p>減便等もあり単純比較にはならないですけども、通常のSFカードとか現金利用はがたっと落ちたというところですけども、コロナの終息に合わせて戻ってきておりますが、コロナ前の状況には遠いという現状です。</p>
池田委員	<p>今後、利用者の料金の値上げというのは検討されているのか。また、最近必ずしも一律の利用料じゃなくてもいいのではないのかというのが広まっていると思います。もちろん航空業界やホテルなんかも、GWは高く平日は安いなど、全く同じサービスでも利用料が半額ということがある。</p> <p>先日もニュースになっていましたが、コインランドリーとか美容室も平日の朝の時間帯は値段がすごく安いとか、雨が明けた日はコインランドリーが高くて、晴れている日や空いている日は安いとか、今まで考えられない感じなんですけれども、そういった風にしていて。特に美容師さんなんかは、今までお客さんがいなかった時間帯に分散して来ることで非常にやりやすくなったりとかある。</p> <p>計画の最後のページに、これまで講じてきた利用促進策等とありますが、無料デーとかワンコインデーなどもそうですが、今まで通りのイベントではなかなか難しいところに来ていると思うので、その辺なんかも色々柔軟な発想でやってみてもいいのかなと思います。</p>
熊谷会長	<p>とさでんさん、ダイナミックプライシングですね。そのようなものは検討されていますか。</p>
とさでん：伊藤	<p>運賃についてですが、検討はしています。まだ具体的な内容には至っていません。お話にあった季節制運賃とか時間制運賃に関しては、一般の生活路線に取り入れるのは法的になかなか難しいのではないかとこのところでございます。</p> <p>高速バスなんかでは、期間によって安くしたりとか時期によって変動する運賃を設定したりとか、貸切バスも同じく、シーズンは高く、オフは安くということはしていますが、生活バス路線については難しいのではないかと考えています。その中でもできるかどうか、今後の検討課題だと考えています。</p>
熊谷会長	<p>他の地域で何か参考になるようなものがあればお願いしたいですが。</p>
宮野委員	<p>私たちが把握している限りでは、とさでんさんがお話しのとおり、高速バスと貸切バスではあるのかなと。生活路線バスでそこまでというのは把握できていないので、情報がありましたら、提供していきたいと思います。</p>
熊谷会長	<p>大幅な考え方を変えないと今後大変ではないか、ということの一環かと思います。</p>
中屋委員	<p>先ほどからイベントや企画というお話だったのでちょっと気になったことを。</p> <p>将来車の運転手、電車の運転手が足りなくなるという話を先ほどからしていますが、興味のない人に興味を持ってもらうことが大事だと思っていて、しかも幼少期から乗り物に興味を持つということの方が手取り早いかなと。今から子供向け企画というのをもっと大きくやったらどうかなと思いました。</p>

熊谷会長	<p>最近若者の車離れというのを車雑誌とかではよく見るのですけれども、子どもが乗り物に興味をもつ、あるいは運転士さんになりたいと思うような企画があれば、もうちょっと将来的に安心できるかなと思うのですがいかがでしょうか。すぐの対策ではなくて、これから10年20年先にどれだけ興味を持つ人が生活するかというのが大事なと思いますが。</p> <p>見学会とか1日運転士とか、そういった企画が過去にそういうものをやったことはありますか。</p>
とさでん：伊藤	<p>ここ最近コロナでできていなかったんですが、以前は各小学校に出前授業としてバスを持って行って、ＩＣカード等の体験をしていただく、そういった中で公共交通に興味を持っていただく、ひいては乗務員にも興味を持っていただくというのをやっていました。</p> <p>今年度に入りまして、何件かそういった依頼も入り始めましたので、お声があれば広げていきたいと思っております。</p>
中屋委員	<p>行政の方もなにかそういう企画があればと思うんですが。</p>
山本委員	<p>高知市ではあまり実施がないのですが、郡部の方に行くと、地域の集まりやイベントなどで、先ほど伊藤委員の言われたように、バスを持ち込んでバスの乗り方教室を行うとか「ですか」の利用方法を学んでいただいて、子どもでも簡単に乗れるんですよというＰＲというのを高知県下でやっています。</p> <p>コロナがありましたが、今年度、一昨年度からぽつぽつと復活はしてきている。</p> <p>運輸支局としても事業者さんの協力を得て、子どもたちと実際にバスに触れてもらうというようなイベントも今後考えていきます。</p>
長尾委員	<p>コロナになって3年間、その前から公共交通の問題は、以前から危惧していた通りになったという実感があります。</p> <p>今日も各委員さん、とさでんさん、北部交通さん、またタクシー業界さんの話を聞きました。本当にコロナだけの問題だったかと思えます。コロナだけでなく時代がこうなった。少子高齢化によって運転士がいらない。びっくりしました。タクシーも運転士がいないために走れない。とさでんさんも何年か後にはバスの運転士がいらない。大変な時代になったという思いです。</p> <p>今日も各委員さんの話を聞きますと、全部否定的な話。将来展望の話がない。とさでんさんも運転士がいらない、赤字路線ばかりになったと。ほとんど赤字路線は廃止してタクシーに替えてしまった。しかしタクシーに替えても運転士はいない。我々利用者はどうするか。家でじっとしているわけにもいかない。</p> <p>是非、前向きな話をもう少ししていただきたい。元気で長生きしたいと思っているが、できない話ばかり。</p> <p>行政もこの課題をどうすればいいかという話が一つもない。全体的な交通行政をどうするか。我々の生活路線をどうするかというところを提起していただきたい。</p>
中城副会長	<p>先ほどから皆さんの話に出ているとおり、公共交通はなかなか課題がたくさんございまして、これはという特効薬がないのが現状でございまして、同じことを繰り返しても解決には至って参りませんので、高知市としましては、公共交通のあり方に関する検討会を昨年12月に立ちあげをしまして、専門の委員さんからいろいろな御意見を賜りながら、交通の体系をどうしていくのか、また費用分担をどのようにしていったらいいのか、それからまた利用促進をどのように図っていくのか、そのような観点から御意見を頂戴しているところでございます。</p> <p>冒頭にお話ししました通り、これはという特効薬があるのかというとなかなか難しいのかもしれませんが、そこを色々考えていきながら行動を変えていくというところで公共交通をどう残していくかというところを考えておりますので、そういった専門の会の御意見も参考にしながら、前向きな検討を進めていきたいと思っております。</p>

熊谷会長	県の意見もお聞きしたいと思いますが、鍵山委員、県としていかがでしょうか。
鍵山委員	<p>先ほど中城副会長からもありましたとおり、あり方検討会の中で公共交通をどういった形に持っていくかというのを議論されているんですけども、その中に県の方も参加させていただきまして、一緒に検討させていただいております。</p> <p>まだすぐに答えができるというわけではないですけども、県としてもこういった会を通じて高知市また交通事業者さんと連携を図りながら、どうすれば持続的な公共交通を守れるか、県も一緒になって考えていきたいと思っています。</p>
長尾委員	<p>私もこの件については、当時の担当者として30年前に携わっていましたが、その時代からずっと公共交通は赤字路線が増えてきた。税金をどんどんいれて路線を確保してきた。いくらでも税金を入れるわけにはいかないので、順番に赤字路線を廃止してきた。廃止できない大事な路線は補助金を入れて確保してきた。それでも赤字路線が増えてきて現在の状況になっている。</p> <p>5年ほど前に、赤字路線はこれで終わりですか、路線の廃止は今回で最後ですかと念を押しましたが、そこから更に半分廃止されています。そういう時代になってしまった。</p> <p>少子化についてはそれ用の省庁をつくってまで対応している。あれも3人お子さんを持たないと歯止めがかからないというが。個人的にはまだ足りないと思う。3人産んでくれた親には1,000万くらい出すというくらいしないと、絶対に人口は増えないと思う。それと同じのが公共交通だと私は思う。</p> <p>もう少し、本当にこれ以上真剣に考えていかないと、それに行政と一緒に連携していかないと、我々の生活路線は絶対になくなる、タクシーも運転士がいなくなてなくなる。運転士がいなくなったらどうするんですか。それを聞きたいと思っています。</p>
熊谷会長	<p>私もあり方検討に参加してしまして、妙案はないんですが、1つずつと思っているのは、行政の方が逃げないとかまともに正面から取り組んでおられる。去年の4月に交通戦略課というのが立ち上がりまして、本当にこれから考えるんだという高知市の意見というか、これから進む道を示しているなどと思っておりまして、日々お会いしている皆さんもまじめに考えられていると思う。ただ、残念ながら、中々いい案がない。</p> <p>もう一つの救いというか、他の地域で色々な技術を基にした取組をされています。すぐにはならないと思いますが、自動運転なんかも公共交通にいずれ導入されるのではないかと。そういう世の中の大きな動き、他の地域でも全く同じ動きで苦しみながら進んでおられます。そういうところを参考にしながら、責務として高知市もやっておられるので、これから一緒になって考えて行きたいなと思っております。</p>
事務局：出口	<p>熊谷会長が言われましたとおり、昨年度の4月から交通戦略課が立ち上がっております。長尾委員が言われましたように、タクシー業界は運転手が不足しています。バスも10年後には11名程度まで減ると予測がされていますし、電車につきましても63両中半数以上が50年を超えているというような、電車・バス・タクシーすべてのモードが大変な状況にあります。そういうことも踏まえまして、昨年12月から抜本的に検討をしようということで、熊谷委員長と、県内3大学の副学長の方などであり方検討会を立ち上げまして、検討を始めております。</p> <p>その中で、直近の会で言いますと、これまで周辺部はデマンド型乗合タクシーで一定乗り換え型の公共交通を再編できてはおりますが、補助金も利便性向上もなかなか思うようにいかないということもありまして、中心部の方にも少し、路線再編なり公共交通の再編を検討する時期に来ているのではないかと委員の御意見もありましたので、今後、中心部も含めまして、抜本的に検討を始めるところまでまとまっておりますので、今後、検討を早急に進めて参りたいと思っております。</p>
長尾委員	<p>今が最後の時期だと思う。本当にどんどん少子高齢化が進んでいますので。</p> <p>やはり思い切って根本的な、良い知恵が、皆さんが一緒になればよい知恵が出ると思う。ぜひ知恵を出していただいて、この場へ出していただきたい。</p>

	<p>公共交通は絶対いる、存続すべきというのは皆さん同じ思いだと思います。全部つぶしてしまうというのは不可能だと思いますので、ぜひもう少し、真剣に戦略的にやっていただきたい。市民代表としてのお願いです。</p>
熊谷会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本題は、補助金に関する皆さんの御意見の伺うということで、いくつかの意見も出ましたので、それを踏まえて補助金の方の参考にしていただきたいと思います。</p>
事務局：西森	<p>次の議事に移ります。</p> <p>議事の2デマンドタクシーについて、事務局からお願いします。</p> <p>===== 資料5説明 =====</p>
熊谷会長	<p>デマンド型の乗合タクシーについて、量販店を経由するものは、新たにコミュニティ交通としているのですが、大きくはデマンド型乗合タクシーということです。</p> <p>何か御意見、御質問はありませんか。</p> <p>これまでも色々考えた末での結論的なもので、それなりに非常に成果をあげているのではないかと思います。</p>
岡村委員	<p>教えていただきたいのですが、デマンド型乗合タクシーの仕組みそのものも良くできていると思いますし、量販店を乗換地点にされることも非常に理にかなっていると感じるんですけども、実際に利用者の方がご利用されてどんな評判なのか。写真を見ると量販店の待合にはショッピングカートもあったりして、とても優しい設計になっているんじゃないかと思うんですけども。数値でなく、定性的なお声というものがありましたら、ぜひ教えていただければと思います。</p>
事務局：出口	<p>昨年10月では路線型から区域運行型という、自宅近くからのドアツードア型に拡充しました。そのことに合わせて、地域の暮らしの拠点となる量販店、スーパーマーケット、春野地域でいえばサニーマートさんやサンシャインさんなどに直接乗り入れることができるという制度にしました。店内には、先ほど言われましたように待合スペースとか、駐車場には専用の駐車スペースを設けるということをして、量販店さんとは大体2カ月おきに利用状況なんかを見せながら、協議をしております。着実に利用客も増えてきております。</p> <p>お客さんにつきましては、タクシーの中で運転士さんと色々話をする中で、便利になったという声は聞かれておりますが、直接市役所の方にはまだ来てはいません。</p> <p>利用データ、実績として3月時点では1.25倍ということで、4月、5月のデータも見ると着実に増えているということで、また岡村委員のように直接利用者のお声も聞きながら、改善をしてまいりたいと思います。</p>
岡村委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>私の知っている高齢の方も、雨の日は出不精みたいになって、バス停まで行くのとかかが非常に大変だというお声も伺ってしまして、ドアツードアになっていくというのはそういう面でもすごくいいなと思います。</p> <p>ドライバー不足の問題もありますけれども、こういった仕組みは非常にいいものじゃないかと思う中で、我々がこれからも自信をもってこれ拡充していくという中では、ぜひ利用者の方のお声を耳にできればと思ったところです。</p>
熊谷会長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
岡田委員	<p>管理者の立場で会に参加しているのですが、今後利用することを考えて利用者の立場から質問させてください。</p> <p>自分は市内なのでバスとか電車ばかり使っているのですがデマンド型のタクシーを利用したことはないんですけど、例えばバス乗り場で終点になっていると思うんですけど、</p>

事務局：出口	<p>それとバスの時間的な乗り継ぎの連携とか、難しいと思うんですが「ですか」利用によって割り引きができるような形になる、バスの利用料金が3割引になるなど、難しいとは思いますが、時間の連携はやっているのでしょうか。</p> <p>乗換型の公共交通を目指しておりますので、周辺部はデマンド型乗合タクシーで主要なバス停まで繋がります。その5分後に次は路線バスに乗り換えて、中心部の方に行くということで、とさでんさんのバスダイヤの方も確認しながら、バスが出る5分前にタクシーが着くようなダイヤ設定をしています。</p> <p>運賃につきましても、これまでのバスよりもできるだけ安くなるよう、デマンド型乗合タクシーの運賃を設定してまして、今はまだ現金払いのみですけども、今後、もう少し利用が増えれば、「ですか」なんかの導入も考えて行けるかと思っています。</p>
熊谷会長	<p>他はよろしいですか。</p> <p>それでは続まして、議事の3、地域内フィーダー系統について。</p> <p>これは国の補助金に関する計画で、過疎地域の鏡と土佐山のデマンド型乗合タクシーについての補助金の計画です。事務局からの御説明をお願いします。</p>
事務局：西森	<p>===== 資料6説明 =====</p>
熊谷会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ご説明がありましたとおり、この計画書を提出することで国庫補助の対象となります。審議事項になりますので、ぜひ皆様のご承認をいただきたいと思います。その前に意見等ありましたらお願いします。</p> <p>では、ご承認いただける方は挙手をお願いします。</p> <p>-----全員挙手、承認-----</p>
熊谷会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>全員の承認をいただきましたので、この会議での結論として承認ということにさせていただきます。</p> <p>提出にあたりましては、支局の方にもまたご相談が行くかと思っておりますので、よろしくお願いします。</p>
熊谷会長	<p>それでは次の議事ですが、令和4年度の事業報告及び決算について、事務局からお願いします。</p>
事務局：西森	<p>===== 資料7説明 =====</p>
熊谷会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>特に問題はないと思いますので、この内容をご承認いただける方は挙手をお願いします。</p> <p>-----全員挙手、承認-----</p>
熊谷会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>全員の御賛同を得たということで、承認をさせていただきます。</p> <p>令和5年度の幹事につきましても、昨年度から引き続きまして、池田委員と山本委員にお願いしたいと思っておりますが、よろしいですか。</p> <p>-----池田委員・山本委員 承認-----</p>
熊谷会長	<p>それではお二方、よろしくお願いいたします。</p>

	<p>以上で議事は全て終了になりますが、総じて何か、言い残したことや御質問などありましたら。</p>
岡田委員	<p>道路管理の点で、利用者の方から公共交通のことで御意見をいただきましたので、この場で伝えさせていただきたいと思います。</p> <p>目の不自由な方が白杖について降りるときに、前に点字ブロックがないのでどの方向に降りて行ったらいいのかわからん、点字ブロックの前に止めて欲しい、歩道の上に表示をして欲しいという御意見がありました。</p> <p>我々としても、公共の表示の中で新たにルールを作ってやるというのも困難ですし、バスが降り口を点字ブロックの前につけるというのもルールとしては難しいと思う。通常、バスの運転士さんは乗り口の所に点字ブロックをつけるよう気をつけてやっていたいていると思う。御意見があったということだけ、この場でお伝えしようと思ってお話ししたところですけども、我々もバスの運行事業者さんに気を付けていただきたいのは、乗り口のところに合わせるようにつけていただきたい。不自由な方が極力使いやすい利用形態、段差、明示の仕方とか、連携して取り組んでいかなければと思っている。</p> <p>一点教えていただきたいのは、バスの運転士さんはそのバス停に点字ブロックがあるかどうかまで認識されて運行されているかは非常に心配。どんな感じで運転されているのか教えていただけたら。</p>
とさでん：伊藤	<p>今、ほとんどのバス停に点字ブロックがございます。乗務員はそこの道路環境とか、そういったところにも気を配りながら、近くに車が停まっていたらそれをよけるために少し離れてしまうということもありますが、基本的にバス停、点字ブロックに合わせたような形で停めています。</p> <p>状況によって、例えば、乗る方がおられなくて降り方だけであれば、それなりに降りやすい所を考えて停めていると思います。</p>
長尾委員	<p>点字ブロックの話題から関連して一つ。</p> <p>バス停の点字ブロックをどんどんつけていただいておりますけれども、その他に植樹があるところがいっぱいあります。その植樹の根が盛り上がって、歩道や点字ブロックが盛り上がっているところがあります。</p> <p>私も自転車で走り回っていますので、いっぱい見ます。県道・市道ともあります。障がい者や足の悪い方、お年寄りも苦勞することがある。是非道路管理者の方で連携をとって修繕できるところはしていただきたいです。</p>
熊谷会長	<p>もしよろしければ、次回への宿題というところで。</p>
岡田委員	<p>県道の歩道は、結構沢山そのようなお話を伺っているところがあり、中でも極端に大きな木の根が張ったところ、最近の歩道は広いので一定確保できていると思いますが、狭い所については、一定、木の根をある程度切って、木が伸びないシートがあるのでそのようなものも使って、極力根が新たに張って来ないような対策はお話を聞きながらやっていっております。</p> <p>また、車いすの利用者の方は非常に小さなギャップで苦勞されるので、そういうところを自分たちも気にしながら、これからも取り組んでまいりたいと思います。</p>
熊谷会長	<p>次回、そういう所がないかということも含めて御検討いただければ。</p>
岡田委員	<p>何か所あるみたいなことですか。</p>
長尾委員	<p>結構見ます。私も苦勞したことがあります。やはり町を見ますと分かりますので。市道もいっぱいありますので。</p>
熊谷会長	<p>よろしいでしょうか。是非お願いいたします。</p> <p>ほか、よろしいですか。</p>

事務局：出口	<p>なければ、最後に事務局からお願いします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、長時間の御協議ありがとうございました。</p> <p>今後は、本日いただいた御意見、これまでの利用者ニーズや利用状況も踏まえまして、交通事業者さんとは運輸局・支局への手続きを進めていただければと思います</p> <p>また、本市としましては、計画に掲げている交通体系づくり、利便性の向上、交通弱者への対応、それから利用促進の4つの取り組みに付いて、関係団体の方々と共に連携しながら、今後もより良い地域公共交通を築き上げてまいりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は長時間にわたるご協議ありがとうございました。</p>
事務局：片岡	<p>それでは、以上をもちまして、第1回高知市地域公共交通会議を終了します。</p> <p>委員の皆様どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。</p>